



ミャンマー

企業訪問調査レポート【1】

Speedy Business Services Co.,Ltd. (SBS)

～ 物流 ～

■ ミャンマー連邦共和国 Republic of the Union of MYANMAR

— 基礎データ —

- 面積：67万6,578平方キロメートル〔日本の約1.8倍〕
- 人口：5,148万人（2015年5月29日発表、出所：ミャンマー入国管理・人口省暫定発表）
- 首都：ネーपीドー
- 名目GDP総額：660億3,000万ドル（2016年）
- 1人当たりの名目GDP：1,269ドル（2016年 推定値）
- 実質GDP成長率：6.30%（2016年）
- 為替レート：1ドル ≒ 1,234.87 ミャンマー チャット（2016年 期中平均値、本文中は「チャット」と表記）

出所：JETROホームページ 国・地域別に見る「アジア ミャンマー概況（2017年6月更新）」



■ 調査日：2017年 2月6日

■ 分野：物流〔運送業・配送業〕

- 特徴：
 - 国内70都市への配送網で受取人まで荷物を届ける。
 - 15年におよぶ国内輸送事業の経験と知識を持つ。
 - 安価で信頼できるサービス。
 - コスト削減に努める。
 - 顧客ニーズに合わせたサービス。
 - 24～72時間以内に配達。



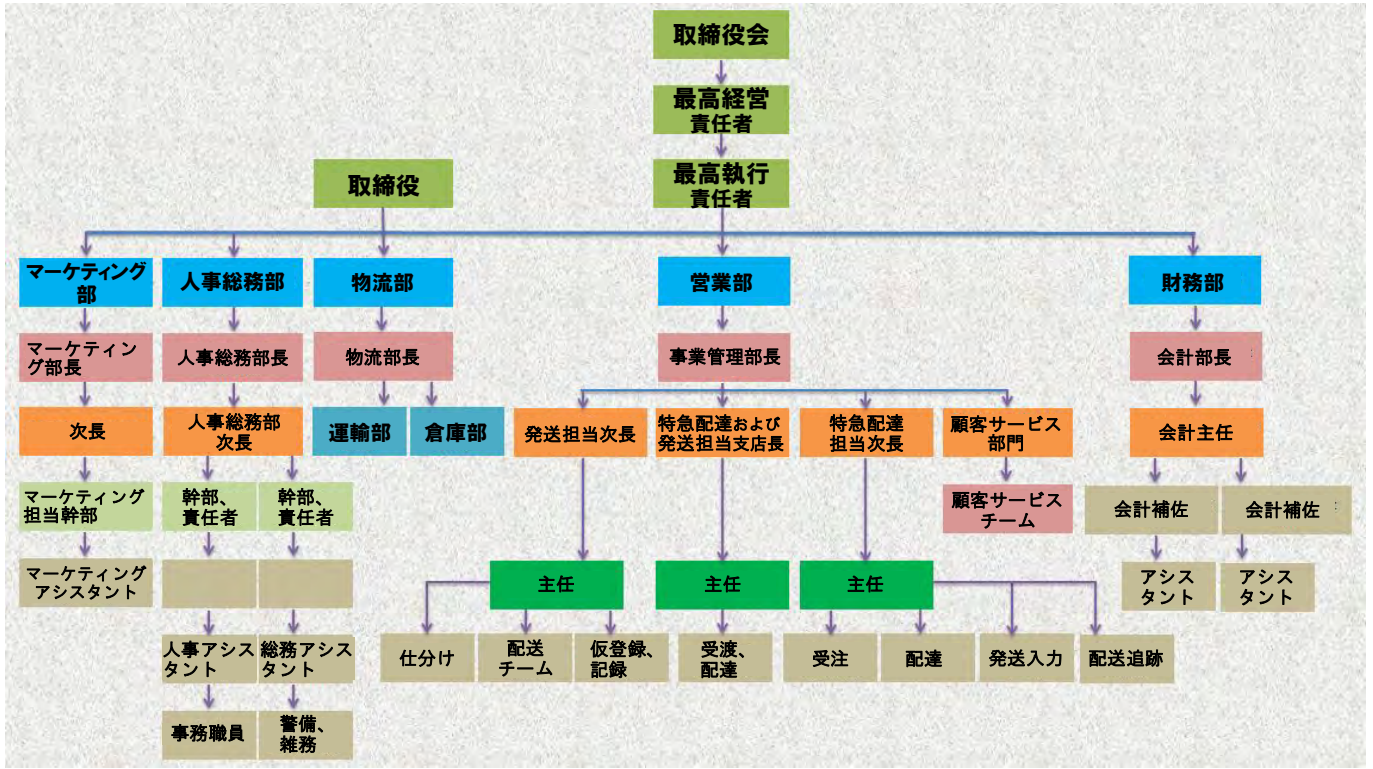
企業概要

- 社名：Speedy Business Services Co.,Ltd.(SBS)
- 住所(本社)：No 65, Kyaung Gyi Street, Kyeemyindine Township, YANGON
- URL：www.sbs-myanmar.com
- 設立年：2001年
- 従業員数：約180人
- 各拠点と敷地面積：ヤンゴン本社〔2,500平方フィート〕、マンダレー支店〔700平方フィート〕、ヤンゴン貨物センターと倉庫〔3,000平方フィート(計画)〕
- 提供サービス：
 - ・配送サービス
 - ・特急配達サービス〔当日お届け、他都市翌日お届け、毎日の郵便集配、電子商取引配達〕
 - ・物流サービス
 - ・バースデー配達サービス
 - ・特別サービス
 - ・ダイレクトメールサービス
 - ・パンフレット配布サービス
- 主要流通エリア：ヤンゴン
- 社是：
 - 信頼できる卓越した特急配達サービスと流通ソリューションの提供で、常に顧客の期待を上回るサービスを目指す。
 - 顧客との長期的関係を築き、事業革新推進により優れたサービスを提供する。
 - スムーズな事業運営のための情報テクノロジーの構築と投資。
 - 従業員のやる気を引き出す良好な職場環境の創造。



企業概要

組織図

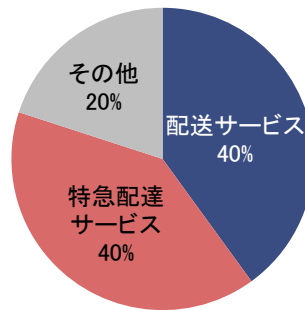


ビジネスの概要

主要事業

主要事業は配送サービスと特急配達サービスで、それぞれ全事業の40%を占めている。

〔事業(売り上げ)の内訳〕



荷物の受け渡し

主要流通網

SBSは国内70都市に流通網を展開している。

ヤンゴン管区	エーヤワディ管区	バゴ管区	マグウェー管区	マンダレー管区	ネーपीドー(首都)
1. 中心部	7. Nyaungdon	バゴ管区: 東部	30. Magway	37. 中心部	46. ネーピードー
2. Twantay	8. Pantanaw	19. Bago	31. Minbu	38. Kyaukse	47. Pyinmanar
3. Thanlyin	9. Maubin	20. Nyaunglaypin	32. Yaenangyaung	39. Meikhtila	
4. Kungyangone	10. Myaungmya	21. Shwekyin	33. Chauk	40. Myingyan	
5. Hmawbi	11. Hinthada	22. Phyu	34. Pakokku	41. Kyaukpadaung	
6. Taikkyi	12. Pathein	23. Taungoo	35. Aunglan	42. Nyaung Oo	
	13. Latputta	バゴ管区: 西部	36. Taungdwingyi	43. Yamethin	
	14. Ingapu	24. Latpadan		44. Mogoke	
	15. Wakhaema	25. Tharyarwaddy		45. Pyin Oo Lwin	
	16. Kyaiklatt	26. Gyobingauk			
	17. Zalun	27. Nattalin			
	18. Dedaye	28. Shwetaung			
		29. Pyay			

ビジネスの概要

■ 主要流通網

SBSは国内70都市に流通網を展開している。

ザガイン管区	シャン州	カチン州	モン州	カイン州	タニンダーリ管区
48. ザガイン	シャン州:南部	60. Myitkyinar	61. Kyaikhto	65. Phaang	68. Dawei
49. Moneywar	55. Pantanaw		62. Thahtone	66. Kawkarait	69. Thayetchaung
50. Shwebo	56. Maubin		63. Mawlamyaing	67. Myawaddy	70. Myeik
51. Myinmu	シャン州:北部		64. Mudone		
52. Kalay	57. Lashio				
53. Kyunhla	58. Kayaukme				
54. Depaeyin	59. Muse				

■ 流通地域内で提供されているサービス



主な流通地域はヤンゴンで、当日お届けサービスと毎日の郵便集配サービスはヤンゴンのみにおいて提供している。その他の地域では、他都市翌日お届けサービスなどの特急配達サービスや電子商取引特別配達サービス、流通サービスを提供している。

■ 輸送用車両

ヤンゴンでは、輸送用車両にはトラックと自転車のみ許可されており、オートバイは使用できない。一方、その他の都市では、オートバイが主な輸送手段となっている。

〔輸送用車両の保有台数〕

地域	輸送用車両	台数
ヤンゴン	トラック	8
	自転車	15以上
マンダレー	トラック	2
ネーピードー	トラック	1
ヤンゴン以外の都市	オートバイ	100以上



輸送用車両(左から、トラック、自転車、オートバイ)

マーケティング: 広告・宣伝

- 見込客への電話による新規サービス紹介
- パンフレットの発行
- 年に2回新聞広告の掲載
- Facebookなどのソーシャルメディアから情報発信
- 電子商取引特別配達サービス利用客に50%割引サービス



パンフレット

■ 社会貢献活動

SBSは業種としてはサービス業であり、常にサービスを提供できる態勢を取っておく必要があることから、特に社会貢献活動等を行っていないが、僧院への衣服の寄付、社員の懇親会や旅行などを実施している。



SNS(Facebook)

ビジネスの概要

業務の実例：特急配達サービス

1. 当日お届けサービス(ヤンゴン市内)

午後2時までに引き取った荷物を、当日午後6時までに届けるサービス。ただし、ヤンゴンでも郊外や工業地域ではこのサービスは提供していない。配達後に配達証明(POD)を発行している。

2. 他都市への翌日お届けサービス

ヤンゴンやその他の都市の顧客の手元まで、小包や書類を配達。

3. 毎日の郵便集配サービス

SBSは顧客の発送部隊として、オンタイムの郵便物集配サービスを提供している。

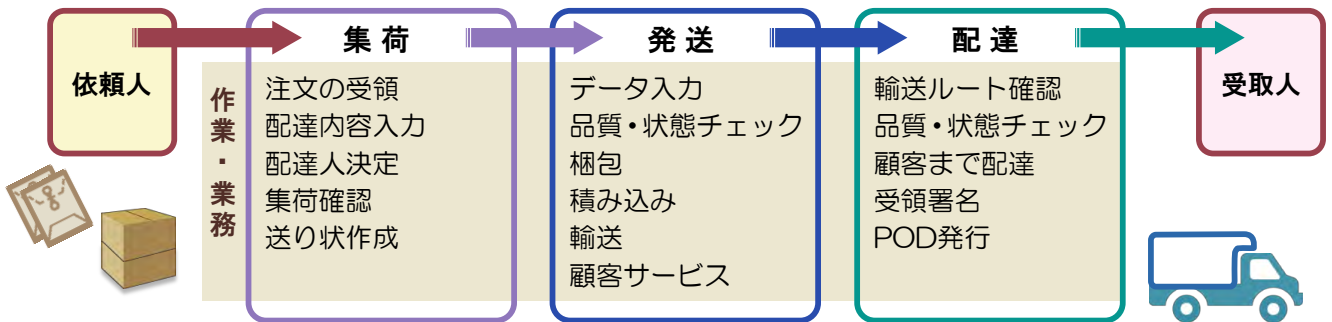
4. 電子商取引用特別サービス

電子商取引業者向けとして、コストパフォーマンスに優れた流通サービスを提供している。電子商取引の運営をサポートするための各種サービス(顧客サービス、返品管理、集金代行業務等)を提供している。



パンフレット
(特急配達サービスの紹介)

[SBSの特急配達サービスの流れ]



業務の実例：物流

1. 配送

毎日の輸送ルートを設定し、顧客から荷物を引き取り、梱包、宛名ラベルの貼付を行い、保険も付保する。翌日、配達証明とともに荷物を受取人の手元まで配送。配達状況詳細日報が、毎日経営陣へ提出される。

2. 輸送

様々なサイズの荷物をトラックや飛行機で輸送している。

課題・問題点・改善点

物流企業として政府機関に登録するには、年間6千万チャットと極めて高額な登録料がかかる。特急配達サービス事業者が、政府に対し登録料金の引き下げを求めたところ、政府は同意し、現在は新規登録料の正式な発表を待っている状態である。ただし、登録料が安くなれば競合企業が増えると予想される。

課題として、経験豊富な労働力の不足が懸念される。また、政府登録企業より安い料金で配達を引き受ける違法業者が散見される点にも対策が必要と思われる。



パンフレット
(物流サービスの紹介)

配達サービス業界の概況

現在、政府登録済みの民間の配達サービス企業はまだ少なく、多くの違法業者が安い料金で配達を請け負っている状況である。また、違法業者は政府登録企業には扱えない現金輸送も行っている。ミャンマー郵便電信公社は唯一の政府系の配達サービス事業者である。

SBSの見解

SBSが採用している営業方針とビジネスモデル

特急配達サービス企業の最善の営業方針は、信頼できるサービスを短時間に提供することである。

SBSにおける今後の展望と市場の将来性

電子商取引市場が急拡大しており、特急配達サービスの利用者もオンラインショッピング企業やその関連企業である。それに伴い、SBSは電子商取引をサポートする上での必要な先進技術への投資を増やしたいと考えている。一方、書類配達サービスは、通信に電子メールやその他のソーシャルメディアの利用が今後も増えると予想されるため、減少していくと思われる。

現在および今後競合すると思われる企業

現在の競合企業は以下のとおり。

- ミャンマー郵便電信公社(政府系公社)
- マグネート・グループ・ロジスティクス・エクスプレス(MGL)
- ユナイテッド・クーリエ・サービス(UCL)
- ロイヤルエクスプレス

今後、政府登録料が引き下げられれば、新たな競合企業が参入してくると思われる。

日本(海外)企業参入の際の留意点

あらゆる海外企業が合併という形で、SBSとミャンマー国内での特急配達サービスでの業務提携が可能である。



ミャンマーイエローページの掲載広告



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。